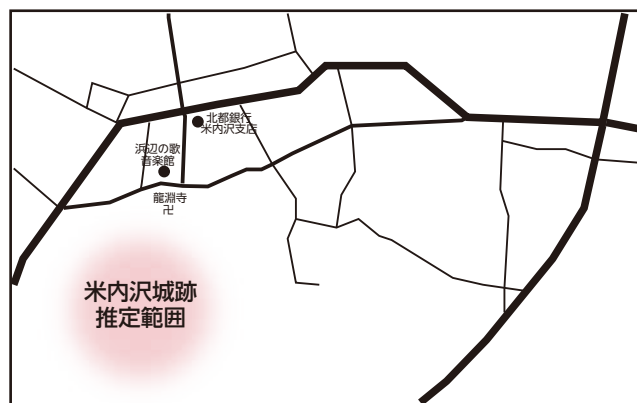




学びの広場

阿仁鉱山や林業などの産業は米代川や阿仁川を利用し、北秋田地域の発展に大きく貢献したことは、前回までに説明した通りである。江戸時代より前の戦国時代の城や館跡は、街道を見下ろすようにつくられた。今回は市内でもっとも規模が大きい米内沢城について取り上げたい。

米内沢城は、倉ノ沢に水源をもつ沢を挟む、東西の山地を利用した山城である。東側(伊勢ノ森)は「古館」と呼ばれ、土塁や空堀が残る。西側は龍淵寺と米内沢神社が現存し、古い地名に館や首塚を残す。約60mの山頂まで利用した大規模な山城であったことがわかる。しかし、元和元(1615)年6月に江戸幕府が「一國一城令」を出し、秋田藩では、久保田、大館、横手の3城を残し、他の城は元和6年までに破却(注1)されたとする。大阿仁城とも呼ばれる米内沢倉ノ沢にあった米内沢城は、どの



▲米内沢城跡推定範囲



▲阿仁川から米内沢城をのぞむ

これまで6回にわたって、北秋田地域の中世・近世の歴史を紹介してきました。北秋田の人々は強い地域意識をもちながら、お互い支えあい発展してきました。時には、大館や能代などの周辺地域からの力を借り、郷土を守り、歴史・文化を育んできました。先人たちの創意・努力を私たちは未来に伝えていかなければなりません。

永井高道 (完)

(注1)破却…城を原型をとどめず壊すこと
(注2)康清…資清(すけきよ)とも言う
(注3)転封…領土替えのこと

一國一城令の中で

温故知新

Vol.6

ような歴史をたどったのだろうか？

米内沢城主である嘉成氏は、鎌倉時代に関東に所領をもっていた坂東平氏葛西氏の子孫と名乗るが、阿仁部への進出の時期など不明な部分が多い。支配地域は古文書からも明らかになっている。七日市村の長崎七左衛門は初代基助について、米内沢城主嘉成右馬頭に使え、七日市村を開村したと『大事代記』に書き記す。この頃の北秋田地方は戦国時代には比内と阿仁に分かれており、比内の一部である小猿部まで、阿仁嘉成氏の支配下にあったことがわかる。ま

た、嘉成常陸介康清(注2)の代に松橋氏の居城である風張城(市指定文化財 阿仁吉田を天正19(1591)年に攻撃し、一夜で落城させ、南側にも勢力を拡大した。

慶長7(1602)年5月、佐竹義宣は常陸国から出羽国に移封され、代わりに姓を安東氏から秋田氏に変えた実季は常陸国穴戸(現在の茨城県笠間市)に転封(注3)となり、嘉成氏は秋田氏に同行した。城代である奈良岡監物が米内沢城を佐竹氏の家臣、赤坂朝光に明け渡す。翌年8月、総検地に抵抗する地侍や農民2千人

が、米内沢城を包囲した。「阿仁一揆」である。赤坂は一揆を鎮圧するが、この時に城は破却されたとする説と、元和6年に破却されたとの記述がある。

破却された米内沢城は、その形が倉ノ沢の山に残る。米内沢城の位置は、交通の要所であり、街道や阿仁川を利用し、戦を繰り返すの勢力を拡大した。戦国時代が終わり、平和な江戸時代になると、街道や河川は林業や鉱山といった経済活動に利用されたのである。



- 公民館活動
- 生涯学習
- 文化振興
- 学校
- スポーツ

～地域で学び、活動する皆さんを応援します～

北秋田市教育委員会



学びの広場



米内沢のいいところを見つけよう！

～地域学校協働活動・地域おこしプロジェクト～

11月3日、米内沢小学校の6年生11人が地域おこしプロジェクトとして、米内沢の見どころを紹介しながら地域内を練り歩きました。

同プロジェクトは、米内沢の良いところを知ってもらおうと児童たちが企画し、総合的な学習の時間に地域の方々のアドバイスをもらいながら取り組んできたものです。

この日は、米内沢駅から浜辺の歌音楽館、本城の金家住宅(国指定重要文化財)などを地域の方々に



▲けん玉など昔の遊びを楽しむ児童たち(金家住宅)

紹介しました。金家住宅では、琴の演奏を聴いたり、昔の遊びを楽しむなど交流を深めました。

親子で楽しむふれあいの時間

～ねまーる広場・きらきらタイム～

親子のふれあいや体を使った遊びを楽しむきらきらタイムが、10月20日に子育て世代支援スペースねまーる広場で開催され、親子3組が参加しました。

きらきらタイムは子どもたちのふれあいやお母さんたちのコミュニケーションの場を作るために月1回開催しています。

この日は市家庭教育支援チーム「にこっと」を迎え、パクパク人形を使って動物の鳴き声を当てる遊びや、歌を歌って動物を表現するなどして親子で一緒に楽



▲にこっとの人形遊びを真剣に見る子どもたち
しみ、参加した子どもの中には、動物の鳴き声を真似して、飛び跳ねながら喜ぶ姿が見られました。

素晴らしい作品が勢ぞろい

～北秋田市みんなの作品展～

市民を対象とした作品展示会「北秋田市みんなの作品展」を開催しています。この作品展では皆さんの日頃の学びの成果が詰まった素晴らしい作品の数々が展示されています。出展作品は、個人、団体、幼稚園、保育園、小中学校と幅広く、内容は、工作、絵画、書写、押し花、陶芸などがあります。

9月から4つの期間に分けて展示しており、最終回の第4回目展示期間は12月24日までで、展示場所は、市民ふれあいプラザコムコム、森吉公民館、



▲鷹巣陶芸教室の作品(11月展示市民ふれあいプラザ)阿仁公民館です。この機会に是非ご覧ください。